

<第2次総合計画進行管理表> 施策評価表

1. 基本事項

作成日 令和6年6月17日（月）

施策		青少年の健全育成の推進		期間	令和5年～令和9年	施策担当部課名	こども未来部	こども青少年課
総合計画	大項目	1	健康でいきいきと暮らせるまち	目的・対象				
	中項目	1	健やかに成長できるまちづくり					
	小項目	3	青少年の健全育成の推進					
	主要プロジェクト							
重要度・満足度		健全な青少年の育成については、重要度はやや低く、満足度はやや高く推移している。		施策推進のための主な取組				
施策を取り巻く社会状況等		少子化の進行や情報化社会の進展等、青少年を取り巻く環境が大きく変化している。スマートフォン等の普及に伴い、青少年が事件に巻き込まれる危険性が高まるとともに、引きこもりなど社会生活を円滑に営む上で困難を抱える青少年の増加等も問題になっている。						

2. 評価指標

上段は目標値（令和4年度は前期基本計画に基づく目標値、令和5年度以降は後期基本計画に基づく目標値）、下段は実績値

区分	指標名（上段） 算出式・説明（下段）	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
成果指標	地域で子どもを育む活動をしている市民の割合	%	27.00	23.00	24.00	25.00	26.00	27.00
	深谷市民まちづくりアンケート		21.30	20.90				
	青少年の補導件数	件	631.00	230.00	220.00	210.00	200.00	190.00
	深谷警察署・寄居警察署の補導件数		232.00	145.00				

3. 一次評価（今後の施策の方向性）

区分	現状維持	1. 現状維持	2. 拡充	3. 縮小
少子化が進む中、地域で子どもを育む活動をしている市民の割合は、微減となった。市内における青少年の補導件数については、令和3年度は増加したものの減少傾向が続いている。深谷市子どもサポート市民会議が行う地域パトロール等を支援し、地域における青少年の見守り体制を維持していく。				
		評価者	こども青少年課長 美野田 芳二	

4. 改善改革プラン（3. 一次評価を受けての具体的な解決策）

区分	具体的な対応策等
☒ 既存事業の拡充	青少年を取り巻く社会情勢は刻々と変化し、その状況への対応に即応できない状態の子どもたちが多くいる中において、青少年育成団体の役割は大変大きなものと言える。今後も青少年健全育成に関わる団体を引き続き支援していく。
☐ 事業の新規立案	
☐ 事業の廃止・縮小	
☐ 事務事業の再編	
☐ その他	

5. 二次評価（所属長の見解）

青少年の自主性や協調性を養い、地域社会の発展に貢献できるような人材を育てることは重要であり、深谷市子どもサポート市民会議は、青少年の健全育成のために積極的に取り組み活動を行っている。このような団体は引き続き支援することは必要であると考えている。また、深谷市子どもサポート市民会議で実施している地域パトロールを推進し、防犯に努めることにより青少年の補導件数が減少するように支援し家庭、学校はもとより地域の大人が健全育成に取り組めるような環境づくりを支援する。	
所属長	こども未来部長 宮島 稔